境港市民交流センター(仮称) 管理運営計画検討委員会 資料(第2回)



平成30年3月22日(木) 境港市民会館大会議室 境港市教育委員会事務局生涯学習課

境港市民交流センター(仮称)管理運営計画の基本方針(案)

〇美保飛行場周辺まちづくり基本計画(平成28年3月策定) 【基本理念】

市民が集い、安心できる、交流と防災の拠点づくり ~みんなが集まる広場のような複合施設~

【目標】

- ①日常的に多くの人が行きかい、集う施設づくり
- ②災害時の防災拠点となる施設づくり
- ③文化・芸術の拠点としてふさわしい施設づくり
- ④市民と自衛隊員との交流拠点となる施設づくり

【導入機能】

ホール・音楽

図書交流

防災拠点

高齢者福祉

会議室

その他

ホール・リハーサル室

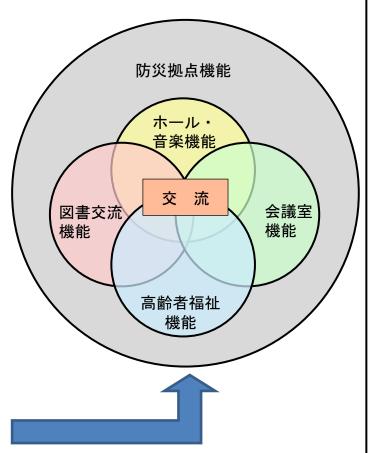
図書交流広場

市執務室・防災備蓄倉庫

事務室・ホール(平土間)

大・中・小会議室、和室

カフェ・エントランス等



複合施設の連携イメージ

境港市民交流センター(仮称)管理運営計画の基本方針(案)

管理運営計画の基本方針の基本的な考え方

ポイント1 協働による管理運営

公共施設の企画運営や施設管理に、市民、民間企業等が参画することは、サービスの向上、人材の確保・育成、市民の活躍と雇用の場の創出などの観点からも非常に重要なことです。また、境港市まちづくり総合プランにおいても「協働のまちづくり」を掲げ、「自分たちの住むまちは、自分たちで考え、自分たちで創り上げていく」、このことをまちづくりの原点としていることから、本施設の管理運営においても「協働のまちづくり」の基本理念を取り入れた運営を目指します。

ポイント2 機能融合による管理運営

様々な機能を持つ複合施設ですが、これらが単に集合しているだけでは期待される効果は十分に発揮されません。基本理念を実現するためにもそれぞれの機能が有機的に連携し、相乗効果を生み出す機能融合の管理運営を目指します。

ポイント3 効率的・効果的な管理運営

複合施設を効率的・効果的に運営するためにはハード面のみでなく、施設全体を高い見地からプロデュースする人材の確保が求められます。施設の管理面においては、開館時間や休館日をある程度統一するなど、一体感があって利用者にわかりやすく、使いやすい管理体制を目指します。

ポイント4 複合施設の特性を生かした管理運営

施設の複合化による効果として、地域文化のシンボル的な施設として情報発信力の強化、文化、学習活動の連携による様々な分野の交流促進、子どもから高齢者まで多様な世代のふれあいなどが期待されます。多様な機能が集中する複合施設のメリットを最大限に生かし、市民の多様なニーズに応えるとともにしっかりとした管理運営を目指します。

境港市民交流センター(仮称)管理運営計画の基本方針(案)

キーワード

日常的に人が集う

文化・芸術の拠点

利便性の高い

人材育成

安心できる施設

防災拠点

協働

自衛隊との交流



管理運営計画の基本方針 (案)

基本方針1:市民の誇りとなる文化の継承と創造

地域の文化や伝統にふれ、次世代への継承を図るとともに、 他地域や海外などの新たな芸術文化鑑賞機会の提供や多様な 文化活動の展開を通して、地域文化の創造と地域の魅力の発 信を目指します。

基本方針2:多様な活動や交流の促進による賑わいの創出

多様な活動や交流機会を提供し、子どもから高齢者まで多く の人々が集い、出会い、交流することにより、賑わいを創出 し、地域活性化の活力を生み出すことを目指します。

基本方針3:市民参加の推進による人材の育成

運営や事業等の企画と実践への市民参画を推進し、地域社会 を支える人づくりを進めます。

基本方針4:多様な情報の集積と有効活用

学習活動や文化活動など市民の生活やまちづくりに役立つ多様な情報を集積し、市民が必要とする情報を発信する情報の 収集と発信の拠点を目指します。

基本方針5:効率的・効果的な管理運営

市民の誰もが、気軽に、便利に利用できるように、複合施設のメリットを最大限に生かした効率的な管理運営と、機能相互の連携による効果的なサービスの展開を目指します。

基本方針6:自衛隊との連携強化

これまでも共存共栄を図ってきた自衛隊との連携をいっそう 強化し、災害に強いまちづくりを推進するため、自衛隊活動 を学ぶ場の提供や市民と自衛隊員との交流を通して、住民と 自衛隊との相互理解を図ります。

市民参画の方策について

ワークショップ

【開催(案)】

境港市民交流センター(仮称)の建設において、これまでも若い世代やこれまで利用していない方の意見を反映させることが課題となっています。

そこで、完成後にこの施設を一番使用するであろう中学生、高校生を対象にしたワークショップを開催したいと考えています。

実施に当たっては、学校及び教育委員会と連携して、開催方法等を今後検討していきます。

〇対象者

- ・市内の中学校及び高等学校の生徒 ※小学生も実施してみてはどうか。
- 〇テーマ及び進行方法
 - ・細かいテーマの設定はせず、自由にこの施設でやりたい事について、意見をもらう。
 - ・各グループにファシリテーターを置き、進行管理を行う。
 - ※ファシリテーターにはこの委員会の委員の方や市の職員を想定。